



NO. 179

響音 (ひびき)

発行 チャイルドライン ハートコール・えひめ
〒790-0808 松山市若草町 8-3
松山市ボランティアセンター気付
Tel 089-923-9558 Fax 089-916-9710
E-mail heart-call@kke.biglobe.ne.jp
http://www7b.biglobe.ne.jp/~heart-call/
発行責任者 染川まどか
発行者 染川まどか
編集者 三好久恵

受け手のための継続研修

◆7月23日(日) 10:00~12:00

松山市総合福祉センター5F 小会議室 参加者 9名
講師：スタッフ



テーマ ZOOM を使ってみよう

今時のことが少々苦手な私たちに、ZOOM についてもそれ以外も非常に長けているスタッフが懇切丁寧に指導してくださいました。スマホ・パソコンを各自持参して、ZOOM アプリを取り込むところからです。参加方法・名前の変更・画面とマイクの操作・挙手・リアクション・ブレイクアウトルーム・背景などなど。わかったつもりですがポロポロ抜け落ちたところもあり、私たちの強い要望で「ZOOM 研修続編おさらい」が8月21日にありました。

◆8月27日(日) 10:00~12:00

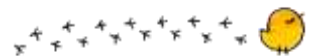
松山市総合福祉センター5F 小会議室 参加者 17名
講師：スタッフ

テーマ ひきこもり について 最近受けた電話の交流

ひきこもりとは不登校とは、ひきこもりと 8050 問題、昨年 TBS 「報道特集」で放映された映像を見ながら学びあいました。愛媛県の小中学生不登校は、前の年度とより 400 人増えて過去最多の 2,233 人となりました。全国的に増加傾向にあり、コロナ禍による影響も多々あるかもしれませんが、それでもこの数字には驚いてしまいます。

不登校もひきこもりも行政や民間の様々な支援があるようですが、当事者・家族に届いていない場合や、相談しにくい、声を上げにくいなどハードルもまだまだ高いようです。

私たち子ども電話が出来ることには限界がありますが、かかってきた電話はしっかり寄り添って聴き続けていきます。



第 23 期チャイルドライン受け手ボランティア養成講座

場所：松山市男女共同参画推進センター(コムズ)

公開講座 1 回のみ参加資料代各 1 2 0 0 円

公開講座 1 2 回通しで参加資料代 12, 000 円

	日時	テーマ	講師
1	10/22(日) 10:00～12:00 会議室 5	<u>公開講座</u> 「スマホ・ゲーム依存からの回復」	NPO 法人 Gumi 代表 古谷大志氏
2	10/29(日) 10:00～12:00 視聴覚室 A-B	<u>公開講座</u> 「子どもを性被害から守るためには」	電話相談員 安達倭雅子氏
3	11/5(日) 10:00～12:30 視聴覚室 A	子どもをどうとらえるか ① 子どもの権利	愛媛 CAP 川口梅子氏
4	11/5(日) 13:30～16:00 視聴覚室 A	子どもをどうとらえるか ② 子どもの貧困	まつやま子ども食堂・シングルマザー交流会松山 野中玲子氏
5	11/11(土) 10:00～12:00 会議室 2	子どもをどうとらえるか ③ 子どもの発達障害	ダンボクラブ(愛媛県高機能自閉症・アスペルガー症候群親の会) 田中輝和氏
6	11/12(日) 10:00～12:30 視聴覚室 B	子どもをどうとらえるか ④ 摂食障害	一般社団法人愛媛県摂食障害支援機構 代表 鈴木こころ氏
7	11/12(日) 13:30～16:00 視聴覚室 B	子ども時代に立ち返る	キャリアコンサルタント 重松章子氏
8	11/19(日) 10:00～12:30 視聴覚室 A	傾聴と技法	精神保健福祉士・社会福祉士 越智清子氏
9	11/19(日) 13:30～16:00 視聴覚室 A	「聴くことってどんなこと？」	カウンセリングスペース「麦の家」カウンセラー村上由美子氏
10	11/26(日) 13:30～16:00 視聴覚室 A	「聴いてもらえる喜びを体験」	カウンセリングスペース「麦の家」カウンセラー村上由美子氏
11	12/3(日) 10:00～12:00 会議室 3	「子どもの気持ちを受け止める」	カウンセリングスペース「麦の家」カウンセラー村上由美子氏
12	12/3(日) 13:30～15:30 調理室	「チャイルドラインの聴き方」 電話の受け手の役割	チャイルドライン ハートコール・えひめ代表 染川まどか氏

◆「チャイルドライン夏の全国キャンペーン」の取り組みが NHK「ひめポン」で放映される！

「チャイルドライン夏の全国キャンペーン」が 8/21（月）から 9/4（月）までの 2 週間の取り組みで始まりました。今回はフリーダイヤル、チャットに加え、ネットでんわも開始しました。このことを NHK「ひめポン」が放映してくれました。ほんのわずかな放映でしたが、告知は大変ありがたいことです。



◆9月17日（日）13:30～17:00

松山市男女共同参画推進センターコムズ 3F会議室2

講師：上野和子氏（特定非営利活動法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション理事長）

テーマ：「チャイルドラインの受け手の役割～子どもを支援するとは～」

◆10月29日（日）13:30～16:00

松山市男女共同参画推進センターコムズ 視聴覚室A

講師：安達倭雅子氏（電話相談員）

テーマ：「もっとうまく子どもの話が聴けるように～性の電話への対応～」

◆「中四国 24 時間キャンペーン」11月に実施

「中四国 24 時間キャンペーン」は今年 11/19（日）から 11/25（土）の 1 週間となりました。私たちの参加は変則的ですが、それでも初めて朝までの参加で、精一杯子どもたちの声を聴いていきます。

11月19日 22:00～11月20日 10:00

11月20日 16:00～22:00

11月25日 10:00～21:00

◆通常ポスターを配布

告知のために久しぶりにポスターを学校・地域に配布していきます。



今回は「子どもたちの声から見えてきたこと」と題して地域を駆け回ったお話です。

チャイルドラインの2本柱である「子どもたちの声にひたすら耳を傾ける」



「子どもたちの大切な声をプライバシーを守りながら社会発信する」この社会発信を目指して地域を駆け回りました。

設立して2年後の2003年から始まり、近年はほとんどありませんが、今までに約45箇所を訪問しお話しさせていただきました。

学校PTA学級、保健委員会、地区懇談会、人権擁護委員会、人権啓発セミナー、不登校を考える会、全国電話相談学会、中学校や高校にも行きました。

船に乗り、島の学校にも行きました。降りたところで電話がかかり出迎えてくださった先生に、そこからこっちは電波が届きませんよと言われました。帰りは地元の方にお野菜をいっぱいもらいました。ある地区の傾聴の会に行きましたが、割と年配の方々が多くほとんど雑談で終わってしまい、そこにあったお茶菓子を持って帰りと紙にくるんでいただきました。台風で参加者が少なくなったこともありました。中学校で全校生徒の前で話したときはさすがに緊張しました。ラジオもテレビも出ました。子どもたちにも大人にも知ってもらいたい一心でした。

子どもがかける電話があるということ、悩んだり困ったとき、話を聴いてほしいとき、親や先生、友達にも言えないとき、名前も学校も学年も言わなくていい、顔も見えない電話だから話せることがあるかもしれない。SOSを出していいんだよ、声に出して胸の内を聴かせてほしいと子どもたちに伝えたい。大人にも、子どもは直接目の前の大人に言えないときもある、電話だから話せて気持ちを整理出来ることもある、人に自分の心を聴いてもらえると、きっと生きる力が湧いてくると伝えたい。がむしゃらに駆け回りました。

それでも残念ながら子ども電話のことが地域に浸透しているという訳ではありません。近年は疎かになっていますが、これからもいろんな形で社会発信していきたいと思います。

編 集 後 記

今年の夏は猛暑酷暑どころではなく、殺人的な暑さ、命にかかわる暑さといわれました。私たちがしてきたことが返ってきたともいわれました。

小5女孫「夏休みの宿題、世界環境についてって何書けばいいの～」中2孫「自分にできること、海にごみを捨てない、食べ物を残さないって書いとき」小5女孫「イエーイ、海はあんまり行かんけど」世界環境については小5には難しい、大人でも難しい、でもちょっとだけ自分にもできることがあると中2に教えられます。

長い夏休みも終わりです。自分の子育ての時、夏休みの終わる頃、また子どもを学校に取られるようで少し寂しかったのを思い出しました。

しかし給食はありがたい。(染)

